



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2520

月信 Vol.9

2024 3
[MARCH]



Contents

ガバナーメッセージ	3
国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度ガバナー 森川 昭正	
パストガバナーメッセージ	4
2015-2016年度 ガバナー 菅原 裕典	
パストガバナーメッセージ	5
2016-2017年度 ガバナー 濱守 豊秋	
『水と衛星月間』に寄せて	6
盛岡ロータリークラブ 国際奉仕委員会 委員長 佐藤 重昭	
他地区合同長期IB	7
ウインタースキーキャンプ	
RAC後期会長幹事会	8
米山記念奨学生終了式	8
塩釜RC「卓球台」寄贈	9
地区大会のご案内	10
奨学生レポート	12
新入会員紹介・退会会員報告・寄付報告	14
月間行事予定表	15
編集後記	16



仙台藩祖・伊達政宗公が5年の歳月をかけて完成させた伊達家の菩提寺である『瑞巖寺』。政宗公が文禄の役の際に朝鮮から持ち帰ったと言われる紅白の梅が今年も見ごろを迎える。瑞巖寺の凛とした空気の中に春の訪れを感じる。

【表紙写真提供】

Kappo (株) (株式会社 プレスアート)



能登半島地震の被災地への「恩返し」と「恩送り」

国際ロータリー第2520地区
2023-2024年度ガバナー

森川 昭正

Akimasa Morikawa

私たちが経験した東日本大震災では「ロータリー東日本大震災復興基金」として世界中のロータリー会員や他団体から多額の寄付が寄せられました。またそれ以外にも各地、各ロータリークラブ及び関係者に対し、多くのご支援を頂きました。あの時は本当にありがたく、ロータリーの素晴らしさを再認識し、その「絆」を深く感じました。

ロータリー東日本大震災復興基金に寄せられた約880万ドル(約9億円)の寄付は221件のプロジェクトを通じて被災地への支援に当てられました。

その中には、今回の被災地となっている能登半島を含むRI第2610地区(石川・富山)のロータリークラブ会員の皆様からの支援も多くありました。

当地区のクラブの中には、その後RI第2610地区のクラブとの交流を重ね、親睦と絆を深めているところもあるかと思えます。

東日本大震災からもうすぐ13年が経ちます。私たちが受けたご恩を今こそ返す時です。実際にご支援いただいた皆様には「恩返し」、受けた支援を能登半島地震で被害に遭われた方々への「恩送り」をする時だと思います。

私は、短期間ではありましたが令和6年2月20日より2泊3日で、生業である薬剤師として石川県金沢市にある、いしかわ総合スポーツセンターに医療支援に入りました。金沢に行くことが決まるとすぐにRI第2610地区の原ガバナー(白山RC)のお顔が目につくか、できればお会いし、先方の地区の現況、支援についてお話を伺いたいと思いました。早速、原ガバナーにメッセージを送ったところ「このような状況下お越しいただければ嬉しく思います」とのお返事を頂きましたので、20日の金沢入りの時間を早め、その日が白山RCの例会日だったので、例会に出席させて頂きました。

能登半島にあるロータリークラブの多くは被災し、いくつかのクラブは会員の家や会社は全てが全半壊し、クラブ事務所も津波で流出するなど、ロータリー活動を再開するにはかなりの時間がかかると恐れ、中にはクラブの存続も危ぶまれる状態のクラブもあるとのことでした。

このような状況は東日本大震災でも同様でしたが、当地区のクラブも先に書いたような他地区・他団体からの多くの支援に助けられました。

能登半島地震の復興には時間がかかることは容易に想像ができ、原ガバナーにもRI第2520地区としても長期にわたる支援を考えていきたい旨伝えさせて頂きました。

各会員の皆様におかれましても、どうか各クラブで能登半島地震への支援として何が出来るかを話し合い、他クラブに声をかけ合い、インターアクトクラブやローターアクトクラブを巻き込み、今こそ「恩返し」「恩送り」をして行きましょう!!

白山RC例会にて



左:森川 中央:白山RC 藤本かず子会長 右:RI第2610地区 原勉ガバナー



Enjoy Rotary!!

2015-2016年度 ガバナー

菅原 裕典

Hironori Sugawara

草木の新芽が萌え出ずる頃となりましたが、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

私は2015年7月にガバナーに就任いたしました。ガバナー終了後、第一地域ロータリーコーディネーター補佐を3年間つとめ、その後2019年7月に第一地域ロータリーコーディネーターを拝命、2022年まで3年間つとめました。それに先立ち、2019年3月に米国イリノイ州エヴァンストンにあるワン・ロータリー・センター（RI本部）での研修にも参加いたしました。

日本からはRIDE水野功氏（東京飛火野RC）、RPIC羽部大仁氏（札幌幌南RC）、RRFC山下皓三氏（鹿児島西RC）とご一緒しました。RI本部では地域リーダーの研修を、2019-2020年度RI会長 マーク・マローニー氏、RI組織の中心の方々とRIで研修リーダーをされている方々より、4日間とても密度の濃い研修を受講いたしました。

ロータリーの発祥の地であるRI本部に行けたことはとても喜ばしいことで、ロータリーの歴史と未来への展望を肌で感じ取り、食事を共にし、様々な方と意見交換できたことは自分にとって最大の経験となりました。RI本部には歴代RI会長と当時の理事メンバーの写真が展示されてお

りました。1983-1985年に理事を務めた、2520地区 塩釜ロータリークラブの故・菅野多利雄氏の写真も一緒に飾られていました。とても感慨深いものを感じました。夜には2014-2015年度RI会長 ゲイリー C.K. ホアン氏とその仲間の方々から食事をご馳走になり交流できたことは、今でも私の財産であり大変大きな収穫となりました。

冬のエヴァンストンは凍てつく寒さでした。研修から宿泊先に戻ると毛糸のマフラーも凍り付いており、まるで自分が雪だるまになったような錯覚すら覚えました。

ワン・ロータリー・センター（RI本部）を訪れると、ロータリーがどのように末永い変化を生み出しているかを知ることができます。平日には45分間の無料館内ツアーも開催されており、日本語による説明も受けることができます。館内には創設者ポール・ハリスの銅像があり、最初のロータリークラブの例会が開かれた当時の事務所をそのまま再現した部屋も展示されています。皆さんも行く機会があれば、ロータリアンの一員としてぜひ足を運んでみてください。



「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」

パストガバナーからのメッセージを掲載致します。

近年、世界の情勢も情報化社会も急速に変化している中、ロータリーにつきましても同様のことが言えるのかと思います。当地区のロータリアンの皆様におかれましては、それぞれロータリーについて考え、それぞれの奉仕活動にご尽力されていることと思いますが、一方でその急激な変化から、ややもするとロータリー活動において迷いが生じている会員の方々もいらっしゃるかと思います。

そこでこの度、パストガバナーの皆様からRI第2520地区の会員

の皆様への道標として「私が歩んできたロータリーとこれからのロータリー」というテーマで寄稿をお願い致しました。内容につきましては、ガバナー就任時に重点を置いていたこと、良かったことや苦勞したことなどのエピソード、また、近年のロータリーについて考えること、ロータリアンに対するエールなどで地区ロータリアンの皆様を元気づけて頂ける様をお願い致しました。

私も楽しみに読んでいきたいと思っております。

(2023-2024年度ガバナー 森川 昭正)



私が歩んできたロータリー～エメラルドの海のように～

2016-2017年度 ガバナー

濱守 豊秋 Toyooki Hamamori

私は若いころから常日頃、感動した時は思わず「なんてエメラルドなのだろう…」と私にとっては最高の誉め言葉…となっている。このエメラルドについては後ほどお話しすることとして…。

まず私のロータリークラブ入会のきっかけについてお話しします。1986年高橋亨先生(元特別支援学校校長)が障害者施設「慈愛学園」を自費で設立したことが東海新報で報じられたとき、私はエメラルド人だなあと感心しました。その後私は施設の子供達にXmas会の『お料理』をプレゼントしたところ、高橋先生や子供達からも大変喜ばれ、その様子がまた東海新報に!そしてその記事を見た大船渡西ロータリークラブ会員より、一緒にロータリーの奉仕活動をしましょうと勧められ、入会いたしました。

入会から一年、次期会長より「今、インターアクトクラブの会員が少なくなり大変だ。崩壊の危機を救ってほしい」と言われ、何とかしなければとの思いから、毎週インターアクトの例会に出席するのですが、校長先生より「私はロータリーが嫌いです」と言われた。そこでロータリーを嫌いなこの校長にロータリーを好きになってもらおうと決心した。会員数は1年生1人、2年生2人、3年生が数人なので、まず2年生2人にアメリカ短期留学の話をしたら「是非行きたい」と大喜び、その後2人とも選考試験を見事合格し、アメリカに派遣! 短期間であったにも関わらず、二人の成長した姿に、それぞれの家族、担当の先生、校長先生にも大変喜ばれ、その後インターアクト会員も見事に増員しました!『インターアクトクラブ崩壊の危機を救う』とクラブ会長賞、ガバナー賞を受賞! しかし私が一番うれしかったことは、1、2年生3人がインターアクト会員増強に喜んで積極的な活動してくれたこと、ロータリーを嫌いと言った校

長先生がとても好意的に協力してくれたことです。

私は21歳の時、様々な悩みや苦しみを抱えておりました。ある時、外国航路船の太平洋上の海がエメラルドグリーンに輝いているのを見たとき、このような素晴らしい美しい海を見るため私は航路船に乗務したのだ、と同時に私の脳裏にあった悩み、苦しみも綺麗に洗い流してくれる思いがして、とても感動しました。この時から『私はエメラルドの海のような存在になりたい』と強く思い、私の座右の銘となりました。施設の子供たちへの支援をきっかけにロータリーへ入会したこともインターアクトの危機を救えたのも、この座右の銘により光を照らしてくれたのでは!? と思っています(笑)。

東日本大震災では国内外からロータリーの支援が多く、市民の皆様「ロータリーって凄いな、凄いなあ、凄いですね」と大変喜ばれ、私も直後は弁当の無料配布、支援物資の受入れなどできる限り頑張りました。ただその年の9月、帰宅後体がフラフラになり我慢できずすぐ大船渡病院に行き、医師の前で倒れ入院、周りの方々に心配をかけたのですが現在は元気に働いております。あの時病院着があと30分遅れていたら私の人生、終わりだったかも…?!

ロータリー活動、支援活動人生においても一番大切なことは自分の体力の限界を知ること。何事もやりすぎではダメだ。東日本大震災の支援活動で私が学んだことです。

後に、私はガバナーエレクト研修セミナーで、2520地区はR財団への寄付0クラブをなくしてほしいと言われて『ビックリ』、しかし地区内ロータリアンの皆様のご協力により0クラブがゼロとなりガバナー年度終了後、大変喜ばれました。2520地区会員の皆さんに感謝です。

パストガバナーからのメッセージ掲載予定

2023年 8月号	白倉義則パスト・伊藤大亜パスト	2024年 2月号	松良千廣パスト・山口淑子パスト
2023年 9月号	皆川清パスト・菊地弘尚パスト	2024年 3月号	菅原裕典パスト・濱守豊秋パスト
2023年 10月号	小川惇パスト・桑原茂パスト	2024年 4月号	藤崎三郎助パスト・田中堯史パスト
2023年 11月号	笠井昭彦パスト・八谷郁夫パスト	2024年 5月号	鈴木賢パスト・伊藤智仁パスト
2023年 12月号	笹気光祐パスト	2024年 6月号	鈴木俊一パスト・天沼久純パスト
2024年 1月号	菅原一博パスト・小野寺則雄パスト		

『水と衛星月間』に寄せて

— 病院に生活用水を コロナ禍の国際奉仕 —

国際ロータリー第2520地区 盛岡ロータリークラブ
2021-2022年度 国際奉仕委員会

委員長 佐藤 重昭 Shigeaki Sato



盛岡ロータリークラブでは、2019-2020年度より2021-2022年度までの3年間に渡り、東南アジア ラオス国カーシー郡にあるカーシー郡立病院への支援に取り組ませていただきました。初年度の医療器具支援プロジェクトは、現地に赴き、盛大な贈呈式も実施していただき、成功裏に実施する事ができました。その初年度の現地とのコミュニケーションの中で、生活用水が不足している状態が慢性化しており、乾季になるとカーシー郡で最も大きな郡立病院でさえ、トイレの水を流す事が困難で、病院スタッフはトイレを使用せず、近くの林で用を足しているとの厳しい状況をお聞きました。この状況の改善のためには、生活用水用の井戸設置が必要との事で、2020-2021年度からの2年間は、郡立病院と支配下のいくつかの小病院の生活用水用井戸設置プロジェクトを実施すべく準備を進めました。しかし、2020年初頭からのコロナウイルスの世界的な感染拡大により、初年度の様

業の実施状況をモニタリング(監査)する事が極めて困難な状況(一般外国人は、ラオス入国のビザ発給停止措置)が続きました。しかし、初年度からお世話になっている現地協力者である西澤氏ご夫妻からタイに在住していたラオス人である奥様が、仕事の関係で二週間の隔離期間を経てラオスに入国するとの情報をいただきました。これにより、プロジェクトの2年目の活動のモニタリングが可能になりました。また、3年目も同様に、現地協力者の全面的な協力により、プロジェクトを遂行する事ができました。ラオスには、ロータリークラブが存在しないという状況の中、現地の善意の協力者にモニタリングを初め多岐に渡る協力をしていただけた事で、事業を無事に進める事ができました。この事に心から感謝をいたしておりますと共に、難しい状況下でも、かかわる人間同士の信頼関係があれば事は成せるという事を学ばせていただきました。

2020~2021年
ラオスカーシー郡
井戸水設置プロジェクト①



完成したカーシー小病院の
水タンク前での記念撮影



病院内に設置する銘板。
「盛岡RCから井戸と水タンク
3,111キープ相当を寄付」



盛岡RCへの感謝状

2021~2022年
ラオス・カーシー郡
ブンラック村診療所
トムアット村診療所
井戸水設置プロジェクト②



完成したトムアット村
診療所貯水タンク



完成したブンラック村
診療所貯水タンク



盛岡RCへの感謝状

他地区合同長期IB ウインタースキーキャンプ

青少年交換(長期)委員長
花巻ロータリークラブ

佐々木 史昭

Fumiaki Sasaki



2024年1月28～29日、東北6県5地区合同のウインタースキーキャンプが蔵王ライザスキー場で行われ、当地区から長期IB生3名と青少年交換委員4名で参加しました。IB生は全11名で出身は、青森2830地区と秋田2540地区が米国1名ずつ、山形2800地区が米国1名、メキシコ1名、カナダ1名の計3名、福島2530地区が米国1名、メキシコ1名、台湾1名の計3名、当2520地区が米国2名、台湾1名の計3名で、ロータリアンやROTEXを含め総勢31名の大人

数でした。初めてスキーを体験する生徒も多く、ロータリアンが分担して指導し、2日後にはすべての生徒がリフトに乗って滑り降りられるほど上達し、初めてのスノースポーツを存分に楽しんでいました。各IB生は初めて他地区のIB生と会い、情報交換し友情を深め、青少年交換プログラムの醍醐味を満喫していました。3月スプリングキャンプでの再会が楽しみです。幹事役の2800地区には本当に貴重な機会を提供頂き、とてもありがたく思います。



「ローターアクト後期会長幹事会」開催報告

ローターアクトクラブ代表 木村 優作 (古川東RAC)



2023-2024年度2520地区RAC後期会長幹事会を2月10日に宮城県大崎市の「パレットおおさき」にて開催いたしました。前期会長幹事会同様、完全対面式にて総勢27名の会議となりました。昨年10月7日に第5回RA第一エリア代表者会議が2510地区ホストにて北海道札幌市にて開催され、そちらで次年度の第6回RA第一エリア代表者会議のホスト地区が2520地区になることが正式に決定となりました。次年度のホスト開催に向けて様々な意見が飛び交い、より一層2520地区RA一丸となり第6回第一エリア代表者会議の成功に向けて準備をしようとして一致し、実のある会長幹事会になったと思っております。又、5月18日にはローターアクト地区年次大会を開催します。プログラムにつきましては現在地区事務局にて鋭意準備中ですので皆様のご参加を心待ちにしております。



平和の懸け橋！ “頑張れ奨学生世界へ羽ばたけ” 2023年度 米山記念奨学生終了式

米山記念奨学会委員会 委員長 清水 努 (塩釜ロータリークラブ)



米山記念奨学生の終了式が、2月18日、仙台市のホテル(青葉区)で開かれた。4年振りにコロナ禍前の通常どおりの進行となった。式には奨学生4人、カウンセラー及び地区関係者約20人が出席、奨学生はやや緊張した面持ちで席に着いた。式辞で、加藤雄彦ガバナーノミニーは奨学期間終了後も学友として、定期的な交流を続け、平和の懸け橋となる人材になってほしいとエールを送った。奨学生、カウンセラーにはそれぞれ終了証と感謝状が加藤ガバナーノミニーより手渡された。奨学生の各々は思いを込めて、流暢な日本語で感謝の言葉を述べた。東北大学の李昊瑞(リ・コウズイ 中国)さんは「ロータリアンの皆さんとの交流は日本社会を理解するために役に立った」と信頼を寄せる。「大学院に行って研究を続けたい」と誓ったのは、東北大学で学ぶ司梓君(ツカサ・シンクン 中国)さん。各々が熱い思いで飛躍を誓った。カウンセラーの一人は「奨学生の成長と共に奉仕の実感を肌で感じる事ができた」と感慨にふけていた。最後に全員で記念写真に収まり、多くの思い出を胸に別れを惜しんだ。



「卓球台」を寄贈

この度、子供たちを放課後、見守る活動を市内の災害公営清水沢東住宅の集会所で行っている市民活動団体の「えぜるプロジェクト清水沢東こどもカフェ」に卓球台を寄贈しました。活動の中でテーブルを接続して間に合わせの卓球台をつくり卓球をしていました。これでも子供たちにとっては喜んでいましたが本格的な卓球台で楽しませたいとの要望があり、令和6年1月22日集会所において卓球台1台とネット、ラケットなどの寄贈式を実施いたしました。

これを集会所に設置して子供たちはもちろん広く地域住民の方々の交流にも活用していただき、地域社会のために少しでも役立てば幸いです。

社会奉仕委員会 委員長 船山 嘉明 (塩釜ロータリークラブ)



新聞記事に掲載されました

卓球災害住宅で楽しんで

塩釜RC 集会所に道具寄贈

塩釜市の塩釜ロータリークラブ（RC）が、東日本大震災で市内に整備された災害公営住宅「清水沢東住宅」の集会所に卓球台やスコアボード、ラケットなど卓球に使う道具一式を寄贈した。集会所で開かれている「子どもカフェ」を利用する子どもや地域住民が活用するという。

集会所では、市民有志でつくる「えぜるプロジェクト清水沢東こどもカフェ」が毎週月曜の放課後、仕事などで親が自宅にいない小中学生らを見守るボランティア活動をしている。

カフェでは昨年9月ごろ、年齢を問わず体を動かせる遊びとして卓球を始めた。卓球台の代わりに備品のテーブル2台をつなぎ合わせ、ラケットやボールはスタッフが持ち寄った。

子どもにはおおむね好評だったが、小学校高学年以上には台の幅が狭く、表面がでこぼこでボールの軌道が変わるなどの課題があり、正規の卓球台の寄贈を塩釜RCに依頼した。

寄贈式は集会所で1月22日あり、塩釜RCの矢部亨会長がカフェの扇恵美子代表に目録を手渡した。子どもらが早速、新品の卓球台やラケットを使って遊んだ。

矢部会長は「卓球をして元気に体を動かし、心と体を健康に保ってほしい」と話した。扇代表は「温かい支援に感謝の



寄贈された卓球台で遊ぶ子どもら

心でいっぱい。これから大切に使用してもらいたい」と語った。

河北新報 2024年(令和6年)2月10日付朝刊 掲載



国際ロータリー第2520地区 2023-24年度 地区大会のご案内



CREATE HOPE
in the WORLD

世界に希望を生み出そう

「希望の苗を植えていこう ~Let's go plant a seedling of HOPE~」

世界、ロータリーは急激に変化しているように見えます。しかしロータリアンが目指しているものの中核は変わっていません。新しい時代にあった変化をしていくことは大切ですが、それは決して過去を置き去りにするものではなく、過去を敬い未来を育んでいく、まさに「温故知新」です。

今年度ゴードンR.マッキナリーRI会長テーマは「世界に希望を生み出そう」です。東北の米どころ、岩手・宮城らしく、先輩ロータリアンの皆さまを敬い、その教えを大切に素敵な未来への希望の苗を植えていけるような地区大会にしたいと思います。

2024

4月19日(金) 親睦記念ゴルフ大会
【会場】泉パークタウンゴルフ倶楽部

4月20日(土) 会長・幹事会
RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
【会場】ホテルメトロポリタン仙台

4月21日(日) 大会本会議
【会場】ホテルメトロポリタン仙台

ホストクラブ 仙台宮城野ロータリークラブ



ご挨拶

国際ロータリー第2520地区
2023-2024年度ガバナー

森川 昭正



拝啓

初春の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素よりRI第2520地区のロータリー活動に対し、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、別紙ご案内の通り令和6年4月20日(土)、21日(日)の両日にRI第2520地区の2023-2024年度地区大会を開催する運びとなりました。今年度の地区大会テーマは、「苗」を植え、育て、収穫する方法を先人から学び、今の気候や世界の変化に順応すべく新しい方法を取り入れて、地域の皆様のお腹が、生活が、より満たされるようにという思いを込めて「希望の苗を植えていこう! ~Let's go plant a seeding of HOPE~」と致しました。今年度のゴードンR.マッキナリーRI会長のテーマは「世界に希望を生み出そうです。東北のどこ、岩手・宮城らしく、先輩ロータリアンの皆様に敬意を払い、その教えを大切に、素敵な未来への“希望の苗を植えていける”ような地区大会にしたいと思っております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

敬具

2023-2024年度 RI会長代理・第3地域RRFC



RI第2720地区パストガバナー
永田 壮一様

プロフィール

所属:熊本城東ロータリークラブ
職業:医師

ロータリー歴

- 1994 熊本城東ロータリークラブ入会
- 2006 熊本りんどろロータリークラブ 特別代表
- 2008-2009 熊本城東ロータリークラブ会長
- 2017-2018 RI第2720地区 ガバナー
- 2018-2021 第3地域 ARRFC
- 2021-2024 第3地域 RRFC

地区リーダーセミナー講師 ~今こそ、クラブ奉仕を!~



RI第2800地区パストガバナー
鈴木 一作様

プロフィール

所属:寒河江ロータリークラブ
職業:眼科医

ロータリー歴

- 1994 寒河江RC入会
- 2009-2010 寒河江RC会長
- 2017-2018 RI 2800地区ガバナー
- 2019-2020 RI 2800地区研修リーダー
- 2019-2020 RI 研修リーダー
- 2022-2024 ロータリーの友委員会副委員長・ロータリーの友事務所理事
- 2023-2026 RI 2800地区 規定審議会代表議員



パラスポーツコンサルタント (元 車いすバスケットボール) 藤井 郁美様



■生年月日:1982年11月2日生

15歳の時に悪性骨肉腫を発症し、右大腿骨、膝を人工関節に置換。高校のバスケット部顧問に車いすバスケットの存在を教わってもらい、20歳から本格的に始めた。2016年以降、数々の大会で日本女子代表のキャプテンとしてチームをメダル獲得に導いた。東京2020パラリンピック競技大会にもダブルキャプテンのひとりとして出場。その後、2022年1月に現役引退。現在は電通デジタルの社員として、所属アスリートの支援やパラスポーツ普及に向けた広報などの仕事をしながら新たなキャリアを歩んでいます。

仙台フィルメンバーによる スペシャルコンサート



1973年に宮城フィルハーモニー管弦楽団として創立。1989年仙台フィルハーモニー管弦楽団に名称を変更。2011年の東日本大震災では数ヶ月間活動を中止せざるを得ない状況となったが、室内楽等で音楽を被災者のもとに届ける活動を展開し絆を紡いだ。本拠地である日立システムズホール仙台での定期演奏会をはじめ、特別演奏会、全国小中学校訪問演奏会、また「仙台国際音楽コンクール」のホストオーケストラとして出演、「仙台クラシックフェスティバル(せんくら)」でも広く市民に親しまれるなど、「杜の都」の音楽文化における中心的役割を担っている。2023年に創立50周年を迎えた。

【仙台フィルハーモニー管弦楽団 Sendai Philharmonic Orchestra】

仙台育英学園高等学校 文化会学芸部 書道部



1990年10月1日、現顧問の渡辺章紀とその友人で創部。今年で創部34年目を迎える。作品制作では2024年2月、書の甲子園と言われる第32回国際高校生選抜書展、団体の部で3度目の全国優勝をし、個人の部では2度目の文部科学大臣賞を受賞。その他、全国高等学校総合文化祭などにも宮城県代表として参加している。また、書道パフォーマンスでは、毎年7月に実施される「書道ガールズ」で有名な書道パフォーマンス甲子園に2年連続出場。昨年実施された第16回大会では全国5位入賞。また今年1月に実施された第3回全国高等学校書道パフォーマンスグランプリでは、3年連続優勝をする。その他、人気アーティストWACCIのミュージックビデオを担当、宮城県警察の飲酒運転根絶パフォーマンスなどにも取り組んでおり、常に夢と希望を追い求めている。

奨学生レポート



2020-2021-2022-2023年度
ロータリー財団グローバル補助金奨学生

工藤 敬

Takashi Kudou

岩手県出身。アメリカ国立衛生研究所 (NIH) で卵巣がんにおける新規治療戦略を研究。

ホスト地区: 第7620地区 (アメリカ・メリーランド州)

ホストRC: Metro Bethesda RC

ご無沙汰しております、アメリカ国立衛生研究所 (NIH) に留学中の工藤です。12月末、街の至る所がクリスマス一色になり気持ちが華やぐ一方で、アメリカで過ごす最後のクリスマスであるということも同時に実感し寂しさを感じている、今日この頃です。よりクオリティの高いクリスマスツリーのために、今年はモミの木の伐採に人生初トライして参りました。この時期になるとルーフにモミの木を括り付けて走行する車が激増し、アメリカならではの風物詩だな、と感じております。

NIH での仕事は「再発卵巣がんにおける新規治療戦略の探索」であり、この約3年間は各国から集まった研究者とディスカッションしながら様々な検証をして参りました。幸いなことに、着目している分子標的薬が非常に強い抗腫瘍効果を有していることを示すことができ、十分に新規治療戦略の1つになりうると確信しております。現在はこれまでの研究内容をまとめ上げ、執筆、投稿、修正を繰り返している日々です。もちろん全てが順風満帆に進んだわけではなく、様々な紆余曲折もありましたが、何とか留学の成果を論文という形に出来そうではと胸を撫でおろしております。

ロータリークラブとの関わりについてですが、先日は家族で Rotary Red Line Happy Hour という催しと、Rotary Winter

Wonderland というクリスマスのパーティーに参加させていただき、どちらのイベントでもちょっとしたお酒や食事、ゲームを楽しませて頂きました。多くのロータリアンの方々がおられ、出身国や、宗教、職種などいわゆる Diversity に富んだ非常に興味深いお話を伺うことができました。Metro Bethesda Rotary Club では、ボランティアの方々が年配の一人暮らしのお宅に連絡して、毎週、必要な日用品や花を届ける活動を行っているとのことでした。個人で出来る支援は限られていますが、ロータリークラブのような大きな団体が率先して活動することで大きな支援が実現している、という印象を受けました。

この約3年間、本奨学金を援助していただいたことによって、ロータリークラブの重点分野である「疾病予防と治療」に関連した研究に取り組みながら、遠いアメリカにて大きな病気やケガなく無事に過ごすことができました。家族一同、心より御礼申し上げます。帰国後も、産婦人科医かつ研究者として、婦人科がんで辛い思いをされている方々への力になるべく邁進していく所存です。最後になりましたが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

奨学生レポート



2024.2.7 サンディエゴ市内の brewery にてラボを訪問された落合翔先生(手前)と在籍中の日本人での食事会。楽しい時間を過ごしました。

2022年12月1日-2024年11月30日
ロータリー財団グローバル補助金奨学生
石川 智彦 Tomohiko Ishikawa

東北大学大学院修了。カリフォルニア大学
サンディエゴ校薬学部ムアーズがん研究所
ホスト地区:5340地区(米国カリフォルニア州)
ホストRC:La Jolla Sunrise RC

あいかわらず私自身は実験漬けの日々を送っております。2/6には研究に関するプレゼンテーションを行う機会があり、少し厳しい質問も受けましたが概ね前向きなコメントをいただくことができ、ひと安心でした。2/57に日本から落合翔先生がラボへの加入希望でいらっしゃって、色々とお話をさせていただきました。最終的にボスの承諾が得られたようなので、来年度から一緒に働くことができそうで楽しみです。また、2/12からは以前ラボに在籍していた安藤俊範先生がいらっしゃっています。3週間程度滞在予定とのことですが、お互いに研究手法を教え合うなど貴重な機会となっています。家族の近況としては、妻は引き続き英語学校 (English second language school) に通っており、それなりに話の会うクラスメイトもできそうです。娘はプレスクールに通っており、友達や先生と英語で意思疎通はできているようで、私達には「〇〇ちゃんと遊んだ」など、友達の名前を聞く機会が増えてきたことを嬉しく感じてい

ます。家で喋る限りでは単語のみですが、英語も少しずつ覚えているようです。

ロータリーとの関わりとしては、1月19日にLa Jolla地区の複数の支部が集まる会合に参加してきました。ホストクラブの会長になられた Mr. Doyle や到着時よりお世話になっている Mr. Randy などにご挨拶をしました。1月26日にはホストである Ms. Loretta にお誘いいただき、Del Mar という海岸沿いの街のレストランでランチをご一緒しました。あいにく妻はカゼを引いてしまったので私と娘と Ms. Loretta とその旦那様の Mr. Ronald さんの4人でのランチでした。Ms. Loretta は会うといつも困ったことはないかと聞いてくださり、大変ありがたく感じています。

新入会員紹介

 久慈RC いずみしん 泉 伸 2024.1.11 入会 福祉介護	 花巻北RC さいとう ひろあき 齊藤 広明 2024.1.1 入会 製造業	 奥州水沢東RC たかはし とおる 高橋 透 2024.1.16 入会 建設業	 奥州水沢東RC いわぶち まこと 岩淵 真幸人 2024.2.6 入会 病院及び施設	 花泉RC いのまた あきら 猪股 晃 2024.2.9 入会 市議会議員・農業	 宮古RC ながせ ひでゆき 長瀬 秀幸 2024.1.1 入会 自動車小売業
 宮古RC あべ のりと 阿部 徳人 2024.1.11 入会 介護施設	 宮古RC きくち かずひる 菊池 和弘 2024.1.18 入会 土木・建築工事	 石巻西RC さくら たかし 櫻 隆 2024.1.30 入会 塗装業	 仙台RC むとう やすし 武藤 康司 2024.1.23 入会 鉄道車両整備	 仙台泉RC むらかみ かずあき 村上一昭 2024.1.18 入会 公認会計士	 村田RC やんべ だい 山家 大 2024.1.10 入会 美容院

【退会会員報告】

クラブ	氏名	職業分類	退会日
花泉 R C	武田 久子	ア パ ー ト 経 営	2024.1.31
陸前高田 R C	伊東 一正	建 設 業	2024.1.25
宮古 R C	小野寺 賢一	自 動 車 小 売 業	2024.1.1
宮古 R C	西村 義松	運 送 業	2024.1.1
石巻南 R C	戸根 治郎	電 気 工 事	2023.12.31
佐沼 R C	阿部 康史	金 融 業	2024.1.31
仙台泉 R C	大平 常元	精 神 科 医	2023.12.31
仙台宮城野 R C	本川 武志	S C 事 業 ・ ホ テ ル	2024.2.29
仙台宮城野 R C	饗場 駿	I T ・ 情 報 通 信 ・ 写 真	2024.2.29

【財団寄付】

■ロータリー財団

2024年1月認証

寄付分類	所属クラブ	氏名	寄付分類	所属クラブ	氏名
マルチプル・フェロー	石巻南 R C	瀬崎 和雄	ポールハリス・フェロー	石巻西 R C	青木 八州
	石巻南 R C	日野 節夫		気仙沼南 R C	尾形 和優
	石巻南 R C	六郷 正暁		奥州水沢東 R C	住吉 正志

※先月号VOL.8で森川昭正ガバナー(仙台宮城野RC)・佐藤剛ガバナーエレクト(水沢RC)がマルチプル・フェローで掲載されていますが、既にメジャードナーレベル1になっております。

2023-2024年度 行事予定表(3・4月)

月	日	曜日	行 事	場 所
2024年				
3月	3	日	第3回オリエンテーション(長短合同)・ROTEX同窓会	常盤木学園高等学校
	9	土	第六分区インターシティミーティング(松塩地区)	リフノス
			第八分区インターシティミーティング	サッポロビール(株)仙台工場 ゲストホール
	10	日	全国RYLA合同会議	AP八重洲 11階「Kルーム」
	14	木	青少年交換(短期)派遣 (~27日)	オクラホマ州
	23	土	第36回全国ローターアクト研修会 山形大会(~24日)	山形テルサ
	24	日	第二分区インターシティミーティング	ホテルグランシェール花巻
30	土	第六分区インターシティミーティング(大崎地区)	アインパルラ浦島	
4月	7	日	米山記念奨学オリエンテーション	江陽グランドホテル
			2024-25年度会長エレクト研修セミナー(PETS)	ホテルメトロポリタン盛岡本館
	18	木	クラブ活性化セミナー2024(~19日)	JPタワーホール&カンファレンス
	20	土	地区大会(~21日)	ホテルメトロポリタン仙台



IWATE AREA

第一分区

1 久慈 RC	24 (1)	7 盛岡南 RC	40 (0)
2 二戸 RC	45 (4)	8 盛岡東 RC	25 (2)
3 種市 RC	17 (0)	9 盛岡中央 RC	23 (4)
4 盛岡 RC	75 (3)	10 盛岡西北 RC	43 (6)
5 盛岡北 RC	34 (3)	11 盛岡滝ノ沢 RC	4 (3)
6 盛岡西 RC	18 (1)		

第二分区

12 花巻 RC	32 (2)	17 北上和賀 RC	20 (3)
13 花巻南 RC	32 (1)	18 岩谷堂 RC	10 (0)
14 花巻北 RC	41 (1)	19 前沢 RC	13 (0)
15 北上 RC	37 (3)	20 水沢 RC	14 (1)
16 北上西 RC	17 (3)	21 奥州水沢東 RC	31 (4)

第六分区

46 古川 RC	43 (4)	52 塩釜 RC	29 (1)
47 古川東 RC	39 (1)	53 塩釜東 RC	11 (1)
48 岩出山 RC	12 (1)	54 多賀城 RC	23 (3)
49 加美 RC	15 (0)	55 利府 RC	9 (1)
50 大和 RC	5 (0)	56 ケー浜 RC	13 (0)
51 松島 RC	5 (0)		

第七分区

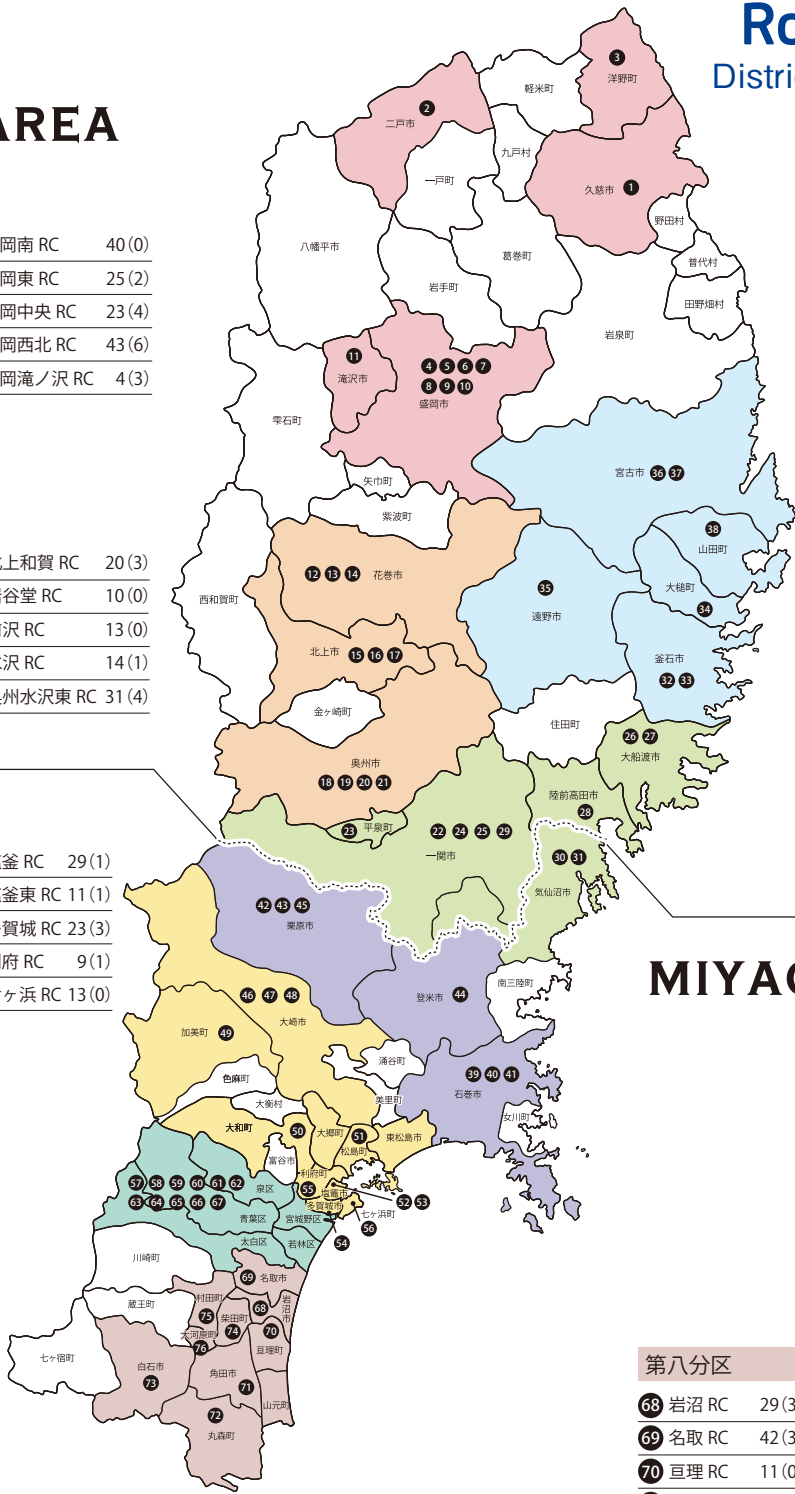
57 仙台 RC	128 (4)
58 仙台泉 RC	49 (0)
59 仙台青葉 RC	41 (0)
60 仙台冠 RC	11 (3)
61 仙台レインボー RC	7 (2)
62 仙台南 RC	43 (4)
63 仙台南・白石R衛星	19 (9)
64 仙台北 RC	60 (1)
65 仙台東 RC	55 (0)
66 仙台西 RC	41 (1)
67 仙台宮城野 RC	35 (3)
68 仙台奥羽 RC	26 (3)

第四分区

32 釜石 RC	17 (1)
33 釜石東 RC	28 (2)
34 大槌 RC	6 (0)
35 遠野 RC	10 (2)
36 宮古 RC	31 (4)
37 宮古東 RC	23 (1)
38 山田 RC	18 (1)

第三分区

22 花泉 RC	9 (2)
23 平泉 RC	12 (0)
24 一関 RC	16 (1)
25 一関中央 RC	16 (6)
26 大船渡 RC	32 (2)
27 大船渡西 RC	32 (6)
28 陸前高田 RC	18 (0)
29 千厩 RC	24 (2)
30 気仙沼 RC	22 (0)
31 気仙沼南 RC	38 (2)



MIYAGI AREA

第五分区

39 石巻東 RC	39 (0)
40 石巻西 RC	34 (2)
41 石巻南 RC	18 (0)
42 栗駒 RC	15 (1)
43 築館 RC	19 (1)
44 佐沼 RC	52 (5)
45 若柳 RC	26 (7)

第八分区

68 岩沼 RC	29 (3)	73 白石 RC	16 (1)
69 名取 RC	42 (3)	74 柴田 RC	18 (0)
70 亶理 RC	11 (0)	75 村田 RC	12 (1)
71 角田 RC	14 (0)	76 大河原 RC	32 (4)
72 丸森 RC	12 (0)		

※クラブ名の右側の数字は2024年1月31日会員数 ()内は女性会員数【合計2,055名(147)】

〈 編集後記 〉

ガバナー事務所では地区大会に向けての準備が大詰めになり差し掛かり、徐々に熱気を帯びて参りました。この大きなイベントを成功させるべく、多くの会員の皆さんにご出席頂きますようお願い申し上げます。寒暖差の大きい日が続いたり、早くも花粉が舞始めたり、会員の皆様にはくれぐれも体調を崩されませんようお願い致します。

ガバナー月信編集長 佐藤 優昭

国際ロータリー第2520地区 2023-2024年度 ガバナー事務所

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町1-1-8
第一日本オフィスビル8階4号
開所時間/月～金 9時～17時(土・日・祝日休み)
TEL 022-224-0151 FAX 022-224-0152
E-mail: ri2520-sendai@sage.ocn.ne.jp